



平成24年11月20日 次所
飯田 恭 賀 出 張
号者局 77 責務 行 第 発 事

二子玉川の魅力

玉川三丁目

山田修一

「水と緑と太陽の街」のキャッチフレーズと共に「おしゃれな街」「住んでみたい街」の上位にランキングされる二子玉川の魅力はどこにあるのでしょうか。玉川高島屋SC・二子玉川ライズSCを核とするショッピングモール、飲食店エリアもその一つでしょうが、一歩多摩川の河原に踏み出せば360度の青天井、清流化も進み野鳥たちも戻って来ています。

丸子川北側の斜面には、武蔵野の面影が色濃く残り、九月九日には（仮称）二子玉川公園で41種千40本の苗木が、未来の森作りとして植えられました。

町会・商店会・学校を始めとした地域と企業、歴史と文化を融合し、昇華させてしまう街という生き物の持つパワーと、豊かな自然にこそ、二子玉川の本当の魅力があると思います。

（二子玉川郷土会）



用賀の町の一員として

京西小中学校校長 藤咲孝臣

着任し、用賀の町の一員にしたい。一年半あまりが過ぎました。

落成式典などの学校行事やサマーステージ、納涼の夕べなどの町の行事を通して、この一年半の間に用賀で活躍する皆さんとたくさん知り合い、用賀の歴史や伝統に触れることができ、幸せに思っています。

歴史・伝統・自然・文化に恵まれたこの用賀の町で、町に愛着と誇りをもつエネルギーを皆さんと交流をさらに広げ、深めていきたいと思っています。よろしく願います。

瀬田の魅力

瀬田三丁目 吉岡光章

瀬田という町は太古の昔から、緑と水、豊かな自然の恵みを受け、人々が暮らすことのできる穏やかな土地であった。そのことは瀬田遺跡が教えてくれる。

その恵まれた環境こそが瀬田の最大の魅力であろう。そして、そこに住まう人々も、心豊かな人々が多い事もまた然りである。

敬老会、瀬田運動会、フットランドの集い、盆踊り、例大祭等々、新しい力の参加を得て、今後とも地域コミュニティを、大切にしていくなぎ運を町全体に感じよう。

その事が、瀬田の町の最高の魅力でもある。

（瀬田町会副会長）

上用賀の魅力とは

上用賀三丁目 柳田文雄

先ず、整然とした街の地形を掲げなければならぬでしょう。

昔の用賀は、里山を想わせる農村地帯。村の賢人有志の地域開発百年の計により、今、私達はその恩恵を受け、安全安心の街に住んで居られる。先人への感謝を忘れてはならない。

更に、この地に住む人々のコミュニティが、次世代を担う子ども達の育成と、学校教育の充実を求めて、美事に躍動している。上用賀盆踊りを始め、YCCコミュニティ活動、ふれあいコンサートなど、自ら進んでボランティアに積極的に参加している姿は感動的です。



まちの魅力



上用賀の魅力

上用賀三丁目 鈴木興二

上用賀の町の魅力、素晴らしいとは、大雑把にいえば次の様な条件が整っているからではないでしょうか。

一、用賀 上用賀 玉川台を含め、一軒以内で東急田園都市線用賀駅を有することです。

二、整備されている区画街路を利用し、新たに築造された駅前広場から発着するバスの交通の便が良いこと。

三、町の用途区域が大体ではあるが、商業、住居区域に分かれ、日常生活が便利であると共に、更に大手スーパー等の進出に依り、物品の廉価販売等、魅力ある町になりつゝあります。駅ある町のすばらしさであろうと思います。

木洩れ日

飯田恭次

今年の夏はロンドンオリンピックで熱戦が続き、加えて連日の猛暑、「暑い、アツイ」と云う会話が飛び交った様に思います。

政治の分野に目を移すと、国内では民主、自民両党の党首選があり、民主党は野田代表の統投、自民党は安倍元首相の再登場となりました。一方、国際社会は国家間の利害が対立、財政危機、環境、領土問題等々外交上の諸課題が山積しています。

平成の世も、早いもので来年は二十五年目、バブル経済崩壊という荒波の中で阪神淡路大震災、東日本大震災と二つの自然災害を体験、地下鉄サリン事件や年間三万人を超える自殺者、急増する生活保護費受給者等の世相……後世の人達はこの時代をどう評価する事になるのでしょうか。

そして、高齢化社会への歩みは年毎に早まっています。〇〇、〇〇追いかの山、小鮒釣りの川、と故郷の幼友達との想い出を懐かしむと共に、これからの長寿社会、元気で長生きを目標に、〇〇老い友達を大切に、心豊かな日々を送って行きたいものです。

身近な福祉社会は、その様な生活の中に育って行く様に思います。では、次号は来春、桜の咲く頃。



郷土紹介

私たちの町の神社

去るおととし委員会平井夏子
 一年は早いもので用賀神
 社や瀬田神社の秋祭りも終
 わり、年の瀬も近づいて参
 りました。

今回は年始の初詣に因ん
 で、神社のお話です。

用賀には、江戸時代には神
 社が幾つもありました。そ
 れが明治四一年に、神明社
 天神社、八幡社が合祀され
 て、今の用賀神社となった
 のです。

今の用賀神社は、かつて
 神明社があった場所を引き
 継いでいるのですが、実は
 用賀神社がでる前は、八
 幡社（現用賀一丁目）が用
 賀村の鎮守でした。江戸時

代に編纂された『新編武蔵
 国風土記稿』にも、八幡社
 が村の鎮守であると書かれ
 ています。

その後明治になりますと、
 飯田武保という人が村社八
 幡社の祠掌となりました。

この武保という人は、用賀
 村の名主をつとめた飯田家
 の方で、江戸時代に最後の
 名主となった武善の兄にあ
 ります。飯田家の長男と
 して生まれ仙台藩士佐々木
 氏の養子となりますが、維
 新後に用賀に戻りました。
 武保は、明治七年には用賀
 の八幡社の他にも、瀬田村
 の御岳神社（現瀬田玉川神
 社）等の祠掌を務めます。
 その後、時を経て、用賀
 神社は玉川神社が管理して
 います。

参考資料「飯田家書目録」
 世田谷郷土資料館

玉川ゆかりの歌人 若山牧水

三才智恵会会長鈴木昌二

自然派の代表的歌人とし
 て親しまれている若山牧水
 は、明治三十七年八月半ばか
 ら約一ヶ月の間、結核療養
 のため多摩川近く、治大夫
 橋脇、旧・NT前、内田もよ
 方で下宿生活をしていまし
 た。以下に牧水の日記を紹
 介します。

八月二〇日 夕方、堤を散
 歩す。草や蟲や、折からの
 夕日雲を染めて落つ、よし
 、よし。

八月二一日 夕、玉川の岸
 をさまよふ。干しくさの色
 に染まりゆく雲、見渡す限
 り野は大いなり、紫凝って
 動かぬ富士、竹林桑畑、水
 瘦せて寂いかなわが多摩川
 の秋。頼、霧心かうこめた
 り。



わが故郷長津田

瀬田三子 大塚澄子

私の故郷長津田（横浜市
 緑区）は、今でこそ田園都
 市線と東名高速が開通し便
 利になりましたが、昔は大
 変でした。交通機関と云え
 ばJR横浜線だけで24号線に
 近い長津田駅迄、私の生家
 からは徒歩40分もかゝり、
 大変不便な村でした。

しかし、山間僻地ですが
 一歩高台に登れば、富士山
 丹沢連峰が一望。すみれ、
 タンポポ、れんげ草、山百
 合等、四季折々の花が心を
 癒してくれました。秋に実
 る果物は自然の甘さで、そ
 の美味は今でも忘れません。
 家の側には小川が流れ、ホ
 タル狩り、蛙の鳴き声……
 思い出は尽きません。

通学や買物は大変でした。

スポーツ

古着・古布の回収

12月1日(土) AM9:00～AM11:00
 京セラ東京事業所駐車場

(玉川台2-14)

歳末たすけあい 募金運動
 地域支えあい

11月15日(土)～12月14日(金)
 東京都知事選挙・東京都議

会議員補欠選挙(世田谷区
 選挙区)

12月16日(日)

午前7時～午後8時
 用賀出張所の期日前投票

受付期間は

12月9日(日)～15日(土)

時間は

午前8時30分～午後8時

※受付場所によって、期日

前投票受付期間が異なり

ます。

問い合わせ

選挙管理委員会事務局へ

週一・二度来る引き売りの
 雑貨、魚屋さん、あとは駄
 の商店街迄、母は自転車父
 は軽トラックでした。

今は、こどもの国、病院
 大手スーパー、野外スポー
 ツセンターが出来て、駅に
 はタクシーが常駐し、バス
 路線も発達し大変便利にな
 りました。

数年に一度は地元の方の
 お世話でクラス会も催され
 昔話が弾みます。あの不便
 だった故郷も、今は東名を
 使えば20分で生家に帰れま
 す。本当に夢の郷です。

今は亡き両親との懐かしい
 生活、頑固一徹な父、その
 分優しくった母との思い出
 は走馬灯の様に浮かんで消
 えていきます。

残り少ない余生を健康で
 楽しく送りたいと念じつつ。

(瀬田町会副会長)



連日連夜うだる様な暑さ
 が続いた今年の夏でした。
 地球の温暖化は確実に進ん
 でいる様に思われます。

然し「暑さ寒さも彼岸ま
 で」とはよく言ったもので
 時期になればきちんと季節
 は移って行きます。

近い将来、直下型地震、
 東海地震などの大震災が起
 きると言われています。一
 人では何も出来ません、そ
 んな時こそ町の人々との支
 え合い、助け合いが必要で
 す。

日頃から地域の人達とふ
 れ合い関わり合いを持ち、
 子供達を見守り、いじめの
 無い明るい町、愛着を持て
 る魅力ある町を作っていけ
 たら良いなあと思います。

(染野)